



令和6年度 全国学力学習状況調査の結果号

学校長：中川 貴智

学校教育目標：『「絆」を大切にし 自ら学び 自らを鍛える 砂川の子』



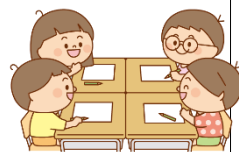
学校HPアドレス：[www.edu.city.kyoto.jp/hp/sunagawa-s](http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/sunagawa-s)

☎ 075(641)7118 fax 075(641)7119

本校6年生を対象に実施された「全国学力調査」について結果がまとまりました。本調査は、国語、算数、2教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されております。生活習慣と学力との関係など、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

## 国語科より

全国平均は上回りましたが、京都市平均をやや下回りました。特に学習指導要領の内容における知識及び技能の「言葉の特徴や使い方に関する事項」に関する設問の正答率が高かったです。砂川小学校では、昨年度から図書館司書が常在しており、各学年の国語科の時間を活用し、図書室での読み聞かせやブックトークなどを行い、**読書に興味をもたせる取組**をしています。また、「**学習センター機能**」として、各教科等の授業の中で活用しています。こういった取組が語彙を増やしたり、言葉の使い方などを理解したりすることにつながっているのではないかと考えます。



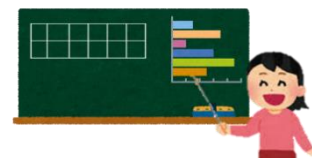
一方で、学習指導要領の内容における「C 読むこと」に課題が見られます。これらの設問では、「複数の描写を結び付けて捉えること」「複数の叙述を結び付け、それらを基に性格や考えなどを総合して判断すること」とあるように、**複数の情報から考えて**いくことが求められています。学校では、今年度より「**情報活用能力**」の育成を目指し、子どもたちが情報を収集し、分析・整理する授業づくりに取り組んでいます。こういった授業を系統的に行っていくことで、これからの社会で必要となる資質・能力が高まっていくようにしていきたいと思います。

## 算数科より

全国平均は上回りましたが、京都市平均をわずかに下回りました。特に学習指導要領「A 数と計算」と「C 変化の関係」の領域が良好でした。関係図をもとに計算に関して成り立つ**性質を考えて答えを求めたり、公式を用いて答えを求めたり**する正答率が高かったです。

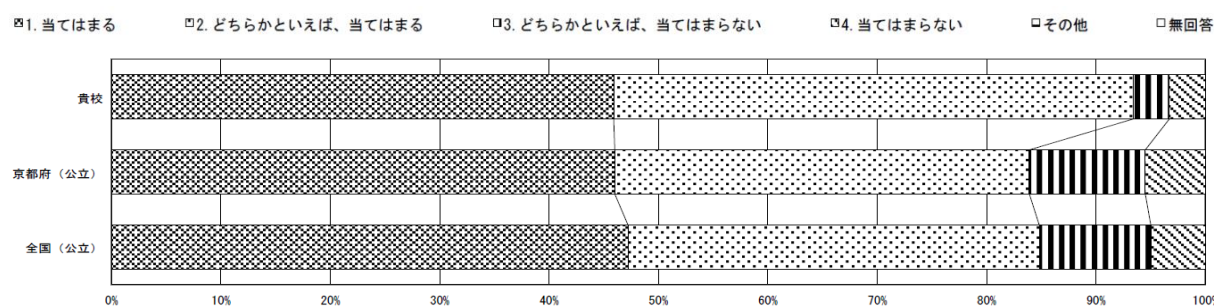
課題については、学習指導要領の「D データの活用」領域です。全国と比べ正答率が低かった問題が、「データの特徴を捉えること」や「目的に応じてデータを収集し、データを整理する観点に着目して表を用いて分類整理すること」でした。指導者が整理するのではなく、**子どもたちが表などに整理するような場面を増やしたり、表などに整理することの良さを実感**できるような学習をしたりすることを大切にしていきたいと思います。

また、今回、算数科の解答を見ていると、無解答率が全国に比べ高い結果が見られました。答えを求めることは大切ですが、「**どうしてそのような式になるのか**」や「**どのように求めたのか**」など**考えや理由を説明することも大事**にした、授業づくりをしていきたいと思います。

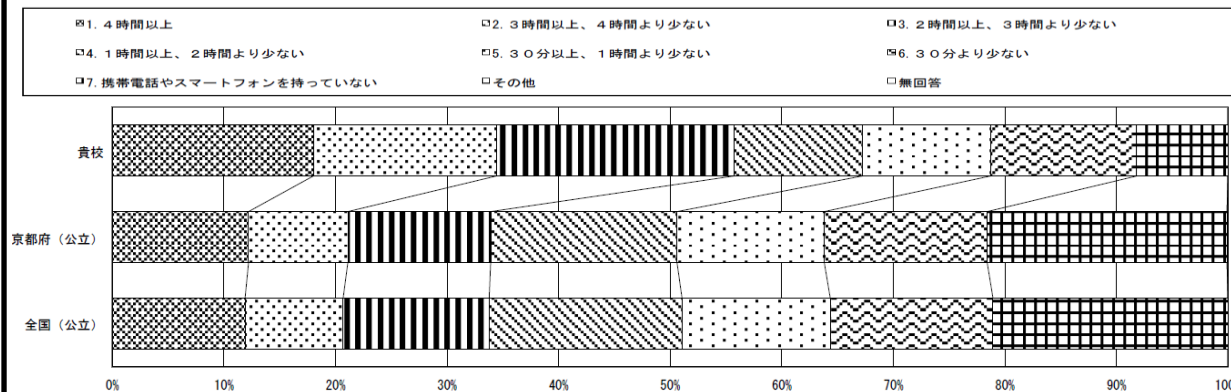


## 児童質問紙調査から

問) 学校に行くのは楽しいと思えますか



問) 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで SNS や動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)



「学校に行くのは楽しいと思えますか」について肯定的な回答が90%を超えました。また、「友達関係に満足していますか」という質問においても90%を超えており仲間の存在や安心して過ごせる環境になっていることがうかがえます。加えて「自分にはよいところがあると思えますか」や「将来の夢や目標をもっていますか」などにおいても肯定的な意見が全国より多い結果から、一人ひとりの子どもを徹底的に大切にする教育を進めたことで、**自己肯定感をもつ子どもたちが増えて**きているのではないかと考えます。

一方で、「携帯電話等での SNS や動画視聴の時間」は、全国平均を大きく上回っています。こういった機器は生活を豊かにし、学習にも有効な手段となりますが、活用を間違えると健康被害やトラブルに巻き込まれたりするなどのデメリットもあります。ご活用の際には、**ご家庭でルールを決めるなど、お子様と話し合**って安全に活用できるよう、お声かけをよろしくお願いします。

\*本調査問題や正答例、解説などは国立教育政策研究所(<https://www.nier.go.jp/23chousa/23chousa.htm>)のホームページよりご覧になれます。

### 保護者の皆様へ

全国調査は、子どもたちの学習状況を知り、子どもたちの可能性を伸ばしたり課題を解決したりしていくためのものです。結果が学力の全てを表しているのではなく、順位を競うものでもありません。学力は学校・家庭・地域での地道な積み重ねにより定着していくものであり、望ましい生活習慣や日々の学習習慣がその基盤となります。引き続き、子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりにご協力をお願い申し上げます。